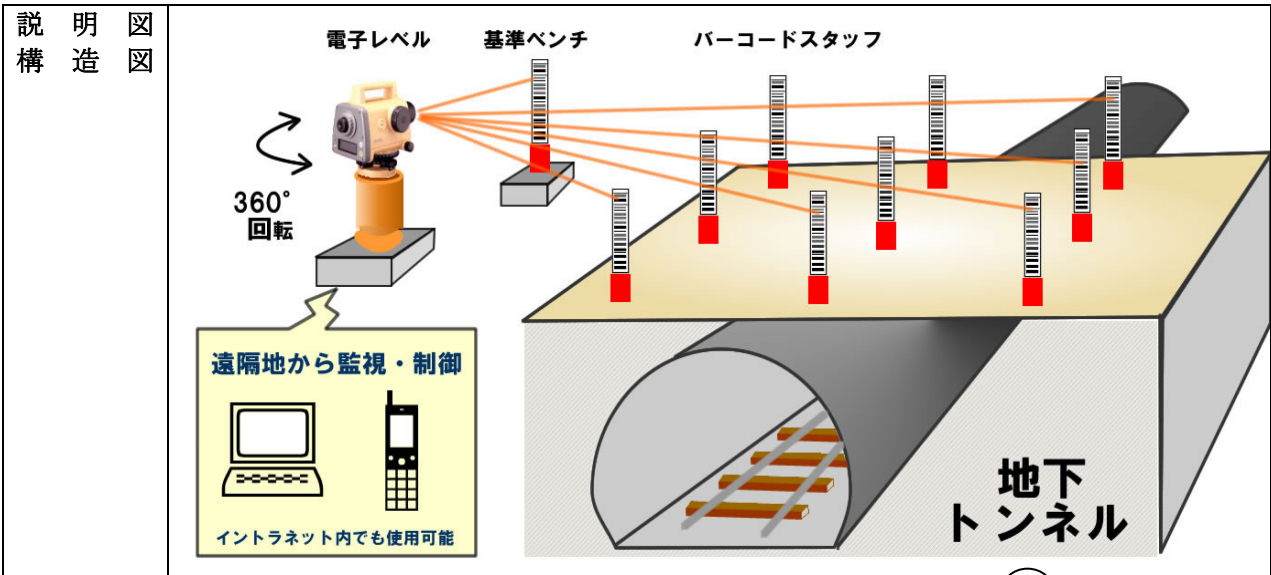


中国四国農政局新技術・新工法概要表(様式2)

新技術の名称	電子レベル自動沈下計測システム【グラウンドサーフェス】		本概要書作成日	平成 25 年 9 月 19 日		
副題	オートフォーカス式電子レベルと自動制御回転台により、地表や既設構造物の沈下・隆起を自動計測します。		開発年度	平成 23 年度		
区分	1. 工法	2. 材料	工種分類 (2件まで記入可)	工種番号	工種分類	備考
	3. 機械	4. 製品		30		
5. その他						
開発会社(機関名)	計測ネットサービス株式会社					
問合せ先	会社名	計測ネットサービス株式会社	担当部署	技術部		
	住所	東京都北区東田端 2-1-3 天宮ビル 6F				
	担当者氏名	土屋 潤一	T E L	03-6807-6439		
	F A X	03-6807-6465	関連する U R L	<a href="http://www.keisokunet.com">http://www.keisokunet.com</a>		
開発の趣旨・目的	電子レベルと自動制御回転台を組み合わせることで、パソコンと接続し遠隔制御により自動レベル観測が行えます。					
技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子レベルと自動制御回転台により、自動で沈下(隆起)測量を行います。</li> <li>・測点には安価なバーコードスタッフを設置するのみでOK。</li> <li>・測定データは遠隔地管理所へ伝送され、リアルタイムに沈下(隆起)情報を確認できます。</li> <li>・警報発令システムとリンクする事により、許容値を超えた時に警報を発令します。 ※夜間の測定する場合は、バーコードスタッフに照明をあてる必要があります。</li> </ul>					
適用範囲(条件)	・バーコードスタッフが暗く見えにくい場合は、照明が必要。					
特徴(メリット・デメリット)	<p>&lt;メリット&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・測定データは無線 LAN 等により遠隔地管理所へ伝送され、リアルタイムに情報を閲覧できます。</li> <li>・警報発令システムとリンクする事で、許容値を超えた際には警報を発令します。</li> </ul> <p>&lt;デメリット&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3次元変位計測ではなく、沈下(隆起)だけの変位計測である。</li> </ul>					



特 許	1. 取得済 ( ) 2. 公開中 ( ) 3. 出願中 4. 出願予定 5. 無
実 用 新 案	1. 登録済 ( ) 2. 出願中 ( ) 3. 出願予定 4. 無
キ ー ワ ー ド	①農業生産性向上 ②高付加価値農業 ③生活環境 ④自然環境 ⑤景観保全 ⑥生態系保全 ⑦国土保全 ⑧コスト縮減 ⑨施設管理 ⑩施工作業効率 ⑪施工精度 ⑫長寿命化 ⑬機能診断 ⑭予防保全 ⑮補修工法 ⑯災害復旧 ⑰安全性向上 ⑱その他
⑱ その他	変位計測
発 表 文 献	なし

農業農村整備事業における施工実績(最新10件まで)				
事業名	事業主体(農政局、都道府県名等)	工事名	施工年度	備考
—	—	—	—	—
農業農村整備事業以外の施工実績(最新10件まで)				
発注者		施工年度	工事名	
建設会社		平成 23 年度	薬液注入時水路管挙動計測	
建設会社		平成 25 年度	ビル地上解体工事におけるジャッキダウンに伴う柱測定	